

2026年度一般選抜(学部学科試験・共通テスト併用方式)
記述式問題 解答例

学部・学科:2月8日 文学部 哲学科

問題Ⅱ

問1

ア	補助
---	----

イ	秘
---	---

ウ	矛盾
---	----

問2

自動車の場合は技術の目的そのものが変わったとまでは言えないが、発明以後の使用状況の変化によって、速く走れるという機能を備えた乗り物という意味を獲得したから。

問3

これらのことわざは、技術の発明の段階ですでに人間が何を必要とするか、その技術の機能とは何かは確定されていることを前提する。しかし技術開発の歴史を見ると、むしろ、あるものが持つ意味は使用される過程のなかで獲得され、そこからものの側に改良やさらなる開発がされるのが実態であるから。

問4

自然のなかに落ちている石を何かを切るために使い始め、さらにこの石をそのまま用いるのではなく一部を砕くことでさらに鋭利な刃物へと整えていくという事例。

問5

人工物は製作者の最初の企図に完全に支配されず、それに抵抗し、人間の行動を新たな方向へと向かわせる自立した存在である。そのため、製作過程は使用過程にまで続き、明確な意味での始まりと終わりのない技術活動のなかで、技術の意味が再規定され続けるという意味での創造性が担保される。

2026年度一般選抜(学部学科試験・共通テスト併用方式) 記述式問題 解答例

学部・学科:2月8日 文学部 哲学科

問題Ⅲ

問1

①	懐疑
---	----

②	整合的
---	-----

③	椅子
---	----

問2 出題意図や採点方針 ※テーマの記号[a]~[c]共通

[a]

本文は、知覚が「世界そのもの」をそのまま写すとは限らないことを示す。もし他人が赤を青として経験していても、会話のやりとりで齟齬が出なければ、外からは差異がわからない。つまり、感じそのものの一致は確かめられない。さらに歪んだレンズの比喩のように、見え方が体系的にずれていても幾何学の証明や測量が成り立つなら、私たちにとって確実なのは、色や形といった質感ではなく、誰が測っても同じになる結果や、計算しても崩れない関係である。見え方は違っても、同じ手順を踏めば同じ結論に到達できる点で、私たちは「同じ世界」を扱うことができる。実在を「私の主観的知覚経験の背後にある存在」として直接確証する道は閉ざされるが、だからといって実在を否定する必要はない。むしろ実在は、経験の恣意的な改変を許さず、反証や訂正を通して誰にとっても同様の結果を強いる制約条件として仮定される。私たちは知覚内容の一致ではなく、確かめ方を共有できる一致点を手掛かりに世界の在り方を探っている。それが最小限の実在論といえる。

[b]

本文は、言葉によるやりとりが成立しているからといって、他者と同じ知覚内容や感覚を共有しているとは限らないことを示している。他人が「赤」や「ヒリヒリする」と言うとき、その内的経験が自分と同一であるかどうかを、私たちは直接確かめられない。それでも日常生活では、信号に従い、痛みを訴え、物の性質を言い表し、互いに大きな支障なく生活を進められている。この事実は、言葉の意味が「内面の同一性」を前提にして成立しているのではなく、むしろ社会の中で共有される使い方、つまり「どのような場面でその語を用い、どう反応するか」という規則に支えられていることを示唆する。私たちは語の使い方を学び、間違えれば訂正されることで、意味の輪郭を保っている。言語は、他者の内面を写し取るものではなく、協働を可能にするための調整の枠組みである。意味理解とは「同じ感じを持つこと」ではなく「同じ仕方言葉を使えること」に近い。その意味で、言葉は公共的な規則に従うものだといえる。

[c]

本文で中心的に扱われているのは、「辻褃が合う」ことのと、その限界である。色のスペクトルが逆転していたり、直線が曲線に見えたりしても、全体として対応関係が体系的に組み立てられていれば、行為の結果は一致し、会話も円滑に進む。つまり、辻褃が合うとは、個々の要素が同じであることではなく、全体の関係が破綻なく回ること、すなわち整合性が保たれることを意味する。私たちはこの整合性に強く依存しており、辻褃が合っている限り「それが現実だ」と思い込みやすい。辻褃が合う仕組みは外からは別の仕組みと区別しにくく、辻褃が合うことが正しさの証拠だと錯覚しやすい。しかし、辻褃が合うことは体系内部の整然さにすぎず、世界の実際の姿を保証するわけではない。整合性が維持されるのは同じ枠組みの中で判断しているからであり、枠組み自体を点検しないかぎりズレは見えにくい。本文は、整合的に機能している説明体系を現実そのものと同じ視する危うさを示し、辻褃が合うことの条件と限界を点検し、別の説明の可能性を考える態度の重要性を教える。